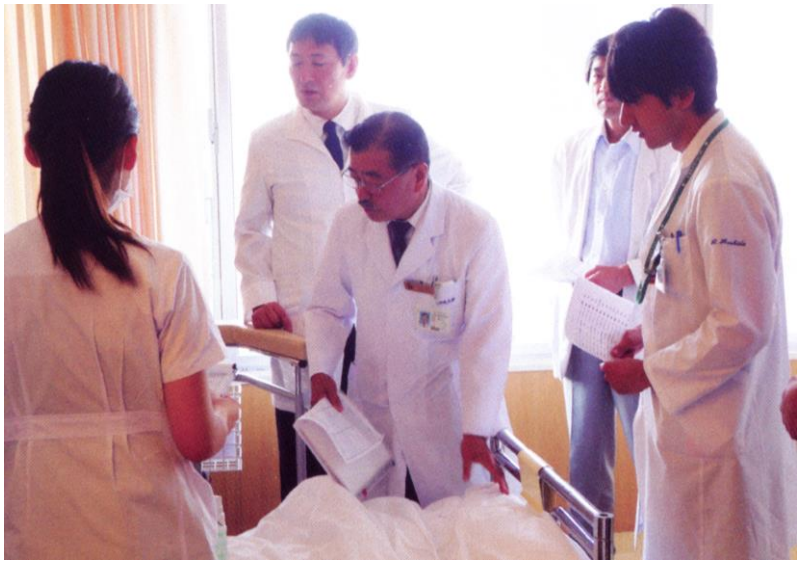
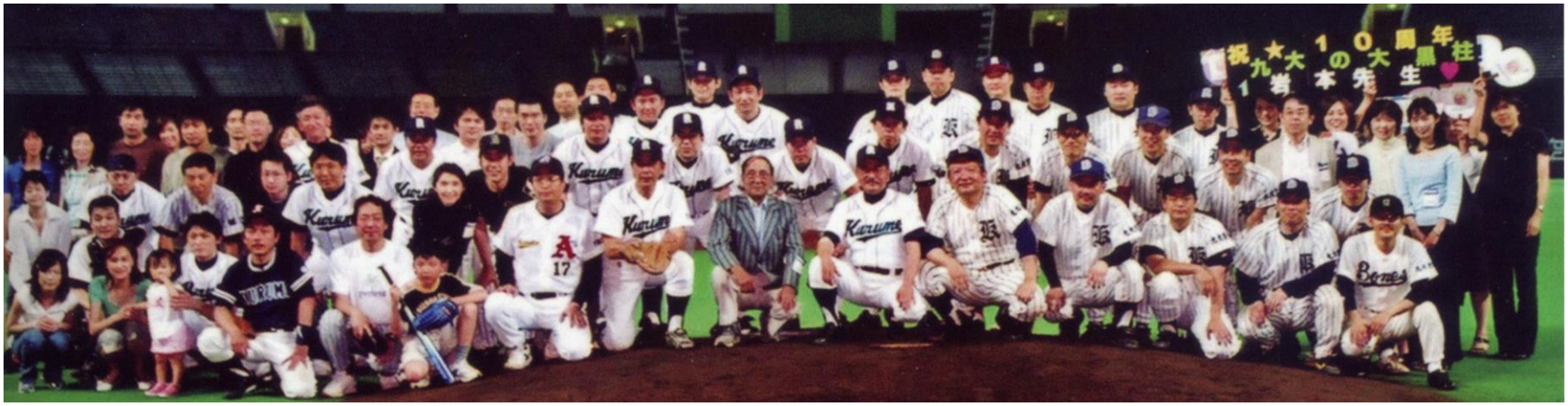
平成12(2000)年6月　第6代 永田 見生 教授　就任

腰椎椎弓切除術を執刀する永田教授



回診中の永田教授



平成18(2003)年　福岡ドームで、岩本教授就任10周年、永田教授就任5周年
を祝って九大との対抗試合と祝賀会が行われた

平成13(2001)年12月9日　同門会

平成24(2012)年5月　第14回日独整形外科学会主催（京都）
同学会の日本代表幹事を務めた

永田教授が主催した主な学会

平成23(2011)年4月　第20回日本腰痛学会

平成23(2011)年10月　第45回日本側弯症学会
第20回脊椎インストゥルメンテーション学会

平成24(2012)年4月　第45回日本脊椎脊髄病学会

平成24(2012)年8月4日　開講80周年記念会・祝賀会

- 平成24(2012)年8月4日、久留米医師会館で記念会(講演会、式典)が執り行われた。
- 記念講演会では、日整会理事長、九大整形主任教授 岩本 幸英 先生、日整会前理事長 国立身障リハセンーター自立支援局長 中村 耕三 先生、日本脊椎脊髄病前理理事 福島県立医科大学理事長兼学長 菊池 臣一 先生の三名に、整形外科の将来の方向、あるいは整形外科の在り方について講演を賜った。
- 記念式典では、日整会理事長 岩本 幸英 先生、北大名誉教授 金田 清志 先生、韓国全南大学の Kim先生から祝辞を頂戴した。さらに、台湾整形外科学会理事長である Jiang先生、韓国全南大学整形外科主任教授 Yoon先生からも祝辞を頂いた。
- その後、場所を翠光園ホテルへと移し祝宴が執り行われた。

記念会が行われた久留米医師会館

祝賀会が行われた翠香園ホテル

平成24(2012)年8月4日　開講80周年記念講演会

菊池先生

中村先生

岩本先生

永田先生 座長

平成24(2012)年8月4日　開講80周年記念式典

Kim先生

金田先生

井上先生 祝辞

樋口先生 司

平成24(2012)年8月4日　開講80周年記念祝賀会

Yoon 先生

Jiang先生

井上博先生 80年史

稗田同門会長 謝辞

久留米大学関連の先生方

菊池先生と金子先生

平成24(2012)年8月4日　開講80周年記念祝賀会

日整会から参加の先生方と白濱先生

岩本先生と同期の先生方と小宮先生

同門の先生方

宮城教授の奥様を囲んで

80周年記念会の10年前　平成14(2002)年4月20日
開講70周年記念会・祝賀会に出席された方たち

戸山先生　永田先生

中村先生

黒川先生

杉岡先生

井上明生先生　高岸直人先生　山中健輔先生　井上博先生

成田陽二郎先生　永田恒久先生　森田辰夫先生

第6代 永田 見生 教授
平成12(2000)年～平成24(2012)年

脊椎脊髄外科の第一人者として国内外で活躍。
平成21(2009)年～24(2012)年　久留米大学医学部長
平成24(2012)年～　久留米大学学長
平成28(2016)年～　久留米大学学長・理事長

私が教室を主催した12年間を振り返りますと、地域医療に貢献する実質的な医師の育成が本学の使命であることから、日整会専門医のみならず、井上名誉教授の時代から踏襲しているsubspecialtyを必ず身につて、地域医療に貢献されていることが教室としての自慢であります。

大学病院では、脊椎、腫瘍、高度外傷、膝、肘、足のスポーツ外傷を中心に、医療センターは、リウマチ関節外科センターとし、リウマチ、関節外科とくに股関節、肩関節を担当するように分業しており、回復期リハビリテーション病棟は医療センターにあります。

昭和7年教室創立以来の入局者は499名で、現在の同門会の会員数は教室員が114名、同門会員が241名の355名です。114名の教室員は大学病院と医療センター、11の医学部関連病院のうちの10病院と教育関連診療科の22病院で地域医療を担当しています。

平成16年からの臨床研修制度で2年間の入局者なし、さらに医師偏在は加速し全国の講座にとって大打撃になりました。最近では入局者は少しづつですが増加し、昨年は13名の入局がありました。なんといっても教室の発展は人材にかかっています。

整形外科同門会誌 開講80周年記念号 開講80周年記念式典挨拶より抜粋

開講80周年までに 学内整形外科教授に就任した先生

矢野 楨二　教授

宮城教授時代に就任

昭和53(1978)年～昭和59(1984)年

脊椎・脊髄外科が専門。永田見生教授の脊椎脊髄外科の師匠。大学病院リハビリテーション部部長を務めた。北海道大学教授 島 啓吾 教授の実弟である。

山中 健輔　教授

井上教授時代に就任

平成7 (1995)年～平成14(2002)年

手外科、関節リウマチが専門。 手外科領域での顕著な業績がある。平成10(1998) 年～平成14(2002)年 久留米大学医療センター病院長を務める。

永田教授時代に就任した学内整形外科教授に就任した先生

樋口 富士男　教授

永田教授時代に就任

平成15(2003)年～平成27(2015)年

股関節外科が専門。本邦での自己血輸血の先駆け。人工股関節置換手術の普及に尽力し、最小侵襲手術に取り組む。　平成25(2013)年～平成27(2015)年 久留米大学医療センター病院長 を務める。

他大学の整形外科教授に就任した先生

小宮 節郎　教授

井上教授時代に就任

平成12(2000)年～平成30(2018)年

鹿児島大学整形外科主任教授

鹿児島大学を卒業後、久留米大学整形外科に入局、骨軟部腫瘍を専門に研鑽を積む。 永田主任教授就任と同年、鹿児島大学整形外科の主任教授に就任。